



インディアンの子育て四訓

校長になってから、特別支援教育について研修する時間が更に増えました。その中で「子育て四訓」を見る機会がありました。これは、市川駐在所連絡協議会に出席した時にも、市川駐在所長田村氏が紹介していたものです。

- 1 乳児は肌を離すな
- 2 幼児は肌を離せ、手を離すな
- 3 少年は手を離せ、目を離すな
- 4 青年は目を離せ、心を離すな

インディアンの教えは、子どもをとりまく環境が子どもの人格を作るということを、的確な言葉で表現していると思います。

日本にも昔から、子どもは「親の鏡」「親の背中を見て育つ」という言葉があるように、知らず知らずに親の言動が、子どもの行動や発言に影響しています。

【乳児は肌を離すな】

赤ちゃんは、抱っこやおんぶ、手をにぎること等の肌の触れ合いで、親から愛されていることを体感します。愛情は与え過ぎということはありませんから、たくさんスキンシップをとっていいと思います。

また、赤ちゃんとくっついていることで、危険や事故から守れます。発熱等の病気の兆候にも、肌をくっつけているからこそ早く気付いてあげられることができます。

【幼児は肌を離して、手を離すな】

自分の足で動けるようになる幼児期は、危険な状況かどうかよりも、興味をもったことだけに集中して突進して行きます。幼児の好奇心や意思を尊重することは大切ですが、危険な状況か判断して子どもの安全を守るのは親や周囲の大人の役目です。突然の危険から幼児を守ってあげるには、子どもと手を繋いでいる方が安心です。交通の激しい通りや、崖や岩道等を歩くと等時は、子どもが嫌がっても手を離してはいけないのです。

でも、安全が確認できる場所等では、子どもが自由に動き回るようにしてあげることも発育過程上とても大切なことです。



【少年は手を離して、目を離すな】

少年になると、安全意識も育ってきますが、まだま

自由に動き回るようになった分、危険も多種多様になってきます。手はつながなくても、いつも目を光らせて子どもが危険な状況にないかを親が注視することが必要です。

子どもを「危険」から守るには、精神的な意味合いも含まれます。親が「いつも自分を見ている」＝「自分のことを気にかけている」と感じることができる子どもは、犯罪等をしたり、他人を傷つけるような言動をしたりすることは少ないと思います。

インディアンの教えは、子離れについても示唆しています。少年になると「手」から「目」に変わりますが、親と子どもの距離が少し離れることを意味しています。子どもが好奇心や意思に基づいた行動をする時に、親はその意思を尊重し少し離れて見守らなくてはならないということです。



【青年は目を離して、心を離すな】

子どもの活動に実際の目も、精神的な意味での目も離れていく青年期。親は子どもの幸せを第一に考えていることを子どもに伝えることが大切です。

子どもの心の中に親が占める割合が減っていくのは、子どもが正しく成長している証拠です。子どもに何か辛いことがあった時に、「お父(母)さんはどう思うだろうか。」等と考えてくれるなら、親は青年の心を離していないと言えるかもしれません。

子育ては、一生をかけてかかわっていくことができる素晴らしい務めです。子どもが大人へと成長しても、心をしっかりと捉えることができるように大切に育てることの重要性をインディアンの教えは伝えているのではないのでしょうか。

子育ての基本となるのは愛情です。大人になった時に、自分が愛されて育ってきたことに気付く人に育ってくれるとありがたいです。そのためには、愛情をいっぱい注いで、心は決して離さずに接していくことが大切だと思います。

お子さんが、学校にいる時は職員一同、保護者の皆様にはかなわないかもしれませんが、精一杯の目と心を配り、愛情を注がさせていただきます。保護者と相談しながらお子さんの成長にお力添えしてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

校長 安田 俊彦

津波避難訓練

11月2日(火)に八戸市と陸上自衛隊八戸駐屯地が主催する「自衛隊との協定に基づく津波避難訓練」に本校の4～6年生児童及び教員が参加しました。また、町内会長・民生委員の方々も参加され、目的地まで片道約3kmの道のりを一緒に歩きました。自衛隊の敷地内では、一時避難場所の確認をしたり、実際の避難時に使用される簡易トイレの使い方を教えてもらったりしました。大津波警報発令時等の迅速な避難行動について体験し、防災意識を高めることができました。



浜市川保育園との交流会

10月28日(金)と11月15日(火)に浜市川保育園年長クラスのみなさんが多賀小学校を訪問しました。毎年、幼保小連携(幼稚園・保育園と学校の連携)として行っている活動です。1回目は、1年生が学習発表会で発表した劇を披露したり、1年生の案内で教室、図書室など色々な場所を見学したりしました。2回目は、2年生のクイズがあったり、体育館で1年生がどんぐり等で作った「秋のおもちや」で遊んだりしました。お兄さん、お姉さんとして園児のみなさんをもてなしていた1年生。とてもたのしく感じました。



12月の行事予定

- 1日(木) クラブ活動
全校集会(校長講話)
- 2日(金) 参観日(5時間授業)
全校14:50下校
- 5日(月) 学期末清掃週間～16日
- 6日(火) スケート教室(ISアリーナ八戸)
全校15:25下校
移動図書館
- 7日(水) 全校遊び
- 8日(木) 第2回児童会総会
委員会活動
- 13日(火) 街頭指導(旗振り)～22日
- 14日(水) スクールカウンセラー来校
(11:30～14:30)
- 15日(木) クラブ活動(最終)
- 22日(木) 委員会活動(反省)
- 23日(金) 2学期終業式(5時間授業)
- 24日(土) 冬季休業～1/12(木)

地域のご協力のおかげで受賞!

令和4年度文部科学大臣表彰

「学校安全表彰」受賞 八戸市立多賀小学校

この度、本校が令和4年度文部科学大臣表彰「学校安全表彰」を受賞しました。本校における、安全教育及び防災教育の取組が評価されての受賞となりました。(令和4年度は全国16校)

11月10日(木)に岩手県盛岡市民文化ホールにて受賞伝達式が行われ、本校を代表して安田校長が出席いたしました。



これからも、命を守る安全教育・防災教育に力を入れて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。